

神奈川大学 国際常民文化研究機構年報 第3号

目 次

刊行によせて	佐野 賢治	3
--------------	-------------	---

第1部 事業編

1. 2011年度の事業報告	8
活動の概要	8
1) 所蔵資料の情報共有化 業務報告	10
2) プロジェクト型共同研究の推進 業務報告	31
3) 事業運営の総合的推進 業務報告	32
2. 活動日誌	34
3. 事業の年間活動状況	42
4. 資料編	
業務計画書	46
成果報告書	50

第2部 論文編

◆論文

シベリア型北方船の系譜	赤羽 正春	65
—ブリヤート人の事例から—		
南九州の特徴ある民具	川野 和昭	81
—地域名称を越えた属性に基づく民具名称の試み—		
会津地方における仕事着の名称をめぐって	佐々木長生	107
—特に山袴を中心に—		
韓国の正月の祭りに関する省察	鈴木 正崇	127
—蠣島（ウィド）の場合—		
民俗艺术研究的历史回顾	陶 思 炎	137
F A D s 漁業の研究視座	若林 良和	147
—「漁業者の貯金箱」としてのパヤオの分類と研究アプローチ—		

◆研究ノート

過程の中の技術：		
アメリカにおける物質文化研究史から	後 藤 明	155
岡山民俗学黎明期における物質文化への着目	角南聡一郎	171
—瓦質祠を中心として—		
戦時中における国分直一の台湾研究：		
オーラルヒストリーから	中生 勝美	181
インドネシア、バリ社会において中国由来とされる		
いくつかの文化的事例について	皆川 厚一	211

◆調査報告

湖南省藍山県過山系ヤオ族の送船儀礼

..... 三村 宜敬、譚 静 223

◆資料紹介

西海捕鯨業地域における巨大鯨組の形成過程

—益富又左衛門組の運上に関する史料紹介— 末田 智樹 252

※論文執筆者一覧 253

第3部 プロジェクト研究活動報告編

1-1 漁場利用の比較研究 (研究代表者 田和 正孝) 256

1-2 日本列島周辺海域における水産史に関する総合的研究

(研究代表者 伊藤 康宏) 264

1-3 環太平洋海域における伝統的造船技術の比較研究

(研究代表者 後 藤 明) 274

2-1 民具の名称に関する基礎的研究

(研究代表者 神野 善治) 287

2-2 東アジアの民具・物質文化からみた比較文化史

(研究代表者 角南聡一郎) 294

3-1 アジア祭祀芸能の比較研究

(研究代表者 野村 伸一) 303

4-1 アチックフィルム・写真にみるモノ・身体・表象

(研究代表者 高 城 玲) 315

5-1 第二次大戦中および占領期の民族学・文化人類学

(研究代表者 泉水 英計) 323

関係者一覧

1. 所蔵資料の情報共有化 332

2. プロジェクト型共同研究の推進 332

3. 事業運営の総合的推進 335

編集後記